西区の西 堺市議会議員「西てつし」

市政報告

2019年度 冬号

初心を忘れず。

今春、地域の皆様方の熱いご支援をいただき、9,445票（得票率17.5%）の得票で、二期連続トップ当選をさせていただいてから半年たちました。公職選挙法により、当選の御礼の掲示や戸別訪問ができないのが心苦しいところですが、いただいた期待を胸に三期目の任期を全力で全うしていきたいと考えています。

今期は、連合大阪推薦議員4名と無所属議員1名で構成する会派「堺創志会」の一員となりました。そして、本年は総務財政委員会副委員長、大都市制度・広域行政調査特別委員会委員、環境審議会委員として活動します。

市長が変わり、堺市政が大きくかわっていくことが予想され、市民の皆さんから心配の声や期待の声をいただいています。8月26日から10月3日まで開催された議会は、新市長との実質的な初議会となり、私自身も永藤新市長の発言を注視していました。

議会会期中、永藤市長は、市職員の作った答弁ではなく自身の言葉で市政を語ろうという姿勢で臨んでおり、非常に好感が持てました。ただ、前市長からの変化を強調することや、政治を変えるというイメージにこだわりすぎて、市民生活の向上にいかに寄与するか、という具体的な指標や中身に基づいての議論が深まっているようには見えないことや、従来の議会での議論の経過を無視し、現場に足を運ばずに事業の中止を決定するということもありました。また、堺市独自の情報発信やプロモーションについてあまり関心がなく、予算支出についても大阪府の支出を堺市が肩代わりする、市民の為ではなく府知事や政党の為ではないかと疑ってみてしまうかのような提案も散見され、残念でした。

市民に一番近い基礎自治体の長として、大阪府や政党の為ではなく、私たちの愛する堺のために何が大事か、そして現場の声をしっかりと大事にした市政をしていただくように引き続き議論、要望していきます。

これからも、大好きな堺の為、大事な西区の為、**是々非々**で議論し、堺の発展の為に取組みをさらに進めていきたいと思います。引き続きのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

堺市議会議員　西てつし

1当	**西**	**哲史**	**9,445票**
2当	上野	充司	8,253票
3当	水ノ上	成彰	6,897票
4当	札場	泰司	6,655票
5当	森田	晃一	5,431票
6当	田代	優子	5,050票
7当	上田	勝人	4,781票
8当	池側	昌男	4,182票
9	平田	大士	3,267票

プロフィール 西てつし（42歳）

よく聞かれますが、親は政治家ではありません。サラリーマン出身です。政治家の秘書から政治の世界に飛び込んだわけでもありません。

1977年　堺市内にて生まれる
1990年　堺市立平岡小卒
1993年　堺市立上野芝中卒
1996年　大阪府立三国丘高卒
2001年　関西学院大学総合政策学部卒
2003年　慶應義塾大学大学院
　　政策メディア研究科修士課程修了
2003年　株式会社博報堂入社（06年退職）
2007年　堺市議会議員に当選（1期目）
2012年　関西学院大学講師（13年迄）
2015年　堺市議会議員に当選（2期目）
2019年　堺市議会議員に当選（3期目）

【現在】
- 総務財政委員会副委員長
- 大都市制度・広域行政調査特別委員会委員
- 竹山修身前市長の選挙資金問題等調査特別委員会委員
- 環境審議会委員
- 西区青少年指導員会副会長

声援カンパで私の政治活動の支援をお願いいたします。

これまで政治をゆがめてきた、しがらみだらけの企業献金や資金パーティと一線を画すために、「西てつし」声援カンパにご協力をいただければ幸いです。

- 郵便振替口座番号　00920-1-328661
- 口座名称　西てつしと共に歩む1000人委員会
- 声援カンパ　一口 2,000円（何口でも結構です）

西てつし事務所　〒593-8322 堺市西区津久野町1-1-1-2F TEL：072-260-1977 FAX：072-260-1978
E-mail：info@nishitetsu.net http://www.nishitetsu.net twitter:@nishitetsu1977

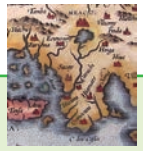
永藤市長になって

市長が交代してから市民の皆さんからは、「堺市政はどうなるの?」「堺市は大丈夫?」とよく聞かれます。
まだ半年なので、これからどのようになるかはまだまだ未知数ですが、いくつか方向が出てきています。

「堺」→「大阪堺」に?

11月1日の読売新聞朝刊を見てとても驚きました。隣の市長が堺の名称について「外国人の認知度が低いから大阪堺に」と言及するのもさることながら、堺市民の代表である堺市長がまさか「一つの検討材料」と前向きな姿勢を示すとは大変残念です。私は「堺」のブランド力強化の為に様々な提案を行なってきましたが、「大阪堺」への改称や並記は、ブランド戦略や歴史的な経過等について、様々なことを考えれば考えるほどありえないと思います。

引き続き「堺」のブランド向上に微力ながら尽くします。



堺→大阪堺に?
松井大阪市長 提案

堺→大阪堺に? 【引用:2019年11月1日読売新聞朝刊】

大阪市の松井一郎市長が31日、府と市、堺市で湾岸地域の街づくりを話し合う会議で、堺市について「外国人の認知度が低く、大阪にあると知られていない。ネーミングを含めて考えるのが一番かなと思う」と知名度不足を指摘し、市名などを「大阪堺」に変更するよう促した。

会議で、松井市長は阪急電鉄が10月に「梅田駅」を「大阪梅田駅」に改称したことに触れ、「大阪という名称を使って宣伝するのが一番ではないか」と改名を提案した。

一方、会議に出席していた堺市の永藤英機市長は会議終了後、記者団に「圧倒的に『大阪』という知名度の方が高い。一つの検討材料かなと思う」などと前向きな姿勢を示した。

世界遺産ガイダンス施設建設中止

市長就任後、一番大きなニュースが、古墳西側の大阪女子大跡地に建設する予定だった世界遺産ガイダンス施設の建設を中止し、博物館を活用し、あわせて拝所横のカフェを廃止してかなり小規模なガイダンス機能を設置するとの発表でした。市長は、ガイダンス施設を主たる目的が「展望施設」と断じ、気球で展望することを検討しているからムダであるとし、計画を中止しました。

しかし、このガイダンス施設は、世界遺産条約で登録にあたって必須で求められている「研修施設」で、古墳の歴史や文化の価値について説明する施設であり、観光が主たる目的の施設ではありません。また堺市立博物館は、堺の歴史全体を紹介する施設であり、私の質問に対する市の答弁で明らかになりましたが、既にスペースの余裕は一切ありません。家原寺を建立した堺の偉人行基の展示まで撤去された程です。また、カフェを転用するとのことですが、これでは近隣に飲食施設がまったく無くなってしまい「おもてなし」の観点から大いに問題があります。

ちなみに、「女子大跡地」は、平成24年に大阪府が、「ガイダンス施設」の建設を条件に堺市に売却したものですが、この時永藤府議(当時)は売却案に賛成しており、まさに建設計画に賛成でした。この翻意は非常に残念です。

世界遺産に期待し多くの方々が来堺されるにも関わらず、非常に簡易的なガイダンスにとどまり、情報をほとんど得られず、飲食もできずに帰るようになってしまうのは、堺っ子として残念でなりません。

児童自立支援施設建設計画中断

市長就任後の本会議質疑で大きな話題になったのが、児童自立支援施設の建設計画中断でした。児童自立支援施設とは、不良行為をした児童や、それだけではなく、虐待や家庭環境が理由で生活指導が必要な児童を入所させる施設で、児童相談所が、虐待、通報などに対応し措置決定することができるのはこの施設があること表裏一体の関係です。
政令市は設置することが義務とされており、大阪府や大阪市も1か所ずつ設置しており、堺市も議会の全会一致で土地購入を承認し、2025年開所予定でした。

そもそもは2011年橋下知事が「府の施設がいっぱいなので堺市も政令指定都市の責任を果たせ」と設置を求めたもので、「堺の子どもは堺で育てる」と堺市も建設を決定したのですが、新市長就任後、現場も見ずに8月22日に建設中断を発表しました。この施設に関わる子ども相談所の職員や中学校の生徒指導の先生などの現場の声も聞かぬままの中断決定は非常に残念です。議会ではほぼ堺市での建設を中止したかのような答弁が続いていますが、児童相談所の措置決定とも表裏一体の関係にあるこの児童自立支援施設について、政治的な判断ではなく冷静な判断をしていただきたいです。

その他にも、「事業チェック」を市長は行なっていますが、この点は次頁以降の質疑抜粋に記載しています。

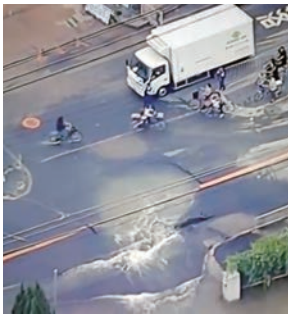
大綱質疑（昨年12月）

昨年12月7日の堺市議会本会議において、会派「ソレイユ堺」を代表し、
堺市政各般にわたって、約67分間質問を行いました。

●発言録や動画は、https://nishitetsu.net/category/assemblyrecord にてご覧いただけます。

●発言抜粋・要約

大規模災害時の堺市への上水供給について



西質問　堺市は大阪広域水道企業団から水供給を受けているが、大規模災害時の堺市への水道供給に不安があるがどのような状況か。

→局次長答弁　企業団の浄水場から堺市までの送水は、3系統の主要管路で行われているが、いずれの系統でも、耐震化は完成していない。

→西要望　この3系統はいずれも大阪平野東側の同じような場所をとおっている為、同時に破断する可能性がある。利用者として早期耐震化を求めるべき。

堺市は、本年１月の企業団運営協議会で、ハード面からの耐震化の促進やバックアップ機能強化を求めると共に、管路破断時の迅速な復旧体制の構築を要望。

その他「外国にルーツを持つ子ども達」「中心市街地活性化」「情報発信とタッチポイントの重要性」「給食調理場の温度管理」「市税事務所統合後の状況」について取り上げました。詳細は議事録を読んでいただけると幸いです。

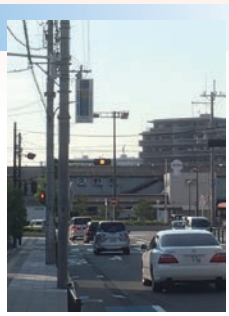
大綱質疑（9月）

9月4日の堺市議会本会議において、会派「堺創志会」を代表し、
堺市政各般にわたって、約41分間質問を行いました。

●発言録や動画は、https://nishitetsu.net/category/assemblyrecord にてご覧いただけます。

●発言抜粋・要約

津久野駅周辺のまちづくりについて



西質問　津久野駅周辺の様々なまちづくりの課題及び取り組みの必要について本会議、委員会で何度となくとりあげ要望してきた。今年度はどのように取り組むのか。

→局長答弁　今年度、津久野駅前周辺における都市再開発等調査・検討支援業務を実施している。

地元主体の活動を支援すると共に関係機関との協議・調整を行う等、再開発等による都市機能更新を初め、活力や魅力ある駅周辺の実現に向けて取り組んでいく。

ムダ遣い削減と行財政改革について

西質問　以前から、事務事業総点検シートの導入や活用、AI・RPAの活用など様々な行財政改革や無駄遣い削減について提案・議論してきた。先日市長が全事業チェックを行ったと報じられているが、定量的な基準が見えない。

→市長答弁　全ての事務事業について、総点検シートを活用しチェックした。各局長・区長と意見交換し、見直しや改善の必要性があるものを指摘。8月には、事業見直しの視点を整理公表した。

西質問　定量的な基準に基づく事業チェックに見えない。結論ありきに見える。見直しの視点は抽象的で従来のものと同じだが。

→局長答弁　これまでも改革の視点として取り上げてきたが、今回それを文書として明示することで、再度の点検・見直しの契機としたい。

→西要望　同じやり方で同じ指示を出しても結果は変わらない。改善を求める。

その他「自転車のまちづくり」「骨髄バンクの登録や提供の拡大」について取り上げました。詳細は議事録を読んでいただけると幸いです。

平成31年度予算審査特別委員会総括質疑（3月）

3月8日の堺市議会予算審査特別委員会において、
会派「ソレイユ堺」を代表し、約75分間質問を行いました。

●発言録や動画は、https://nishitetsu.net/category/assemblyrecord にてご覧いただけます。

●発言抜粋・要約

浜寺小学校建て替えについて

西質問　浜寺小学校の建替事業が進んでいると聞いているが、校庭の大きさはどのようになるのか。
→課長答弁　堺で一番小さいものから堺で3番目に小さいサイズになる。
→西要望　子供たちの為、そして津波避難の観点から、4階建てにすることによって校庭の大きさは確保できないのか。
→課長答弁　用途地域の指定から課題がある。
→西要望　地域の声をしっかり聞き、小学校部分の用途地域変更も検討すべき。
→西質問　図書館やランチルーム、支援教室が標準サイズよりかなり小さい。検討すべき。
→課長答弁　標準図をもとに検討していく。

（浜寺小ホームページより引用）

その他「SDGs」「津久野駅周辺活性化」「津久野・鶴田橋の安全管理」「骨髄バンク」「中心市街地活性化」「給食調理場のエアコン設置」について取り上げました。詳細は議事録を読んでいただけると幸いです。

平成30年度決算審査特別委員会（9月）

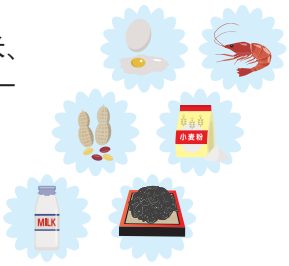
平成30年度決算審査特別委員会において、9月10日（市民人権委員会所管事項）、
9月11日（建設委員会所管事項）と質疑しました。

●発言録や動画は、https://nishitetsu.net/category/assemblyrecord にてご覧いただけます。

●発言抜粋・要約

災害時のアレルギー対応について

西質問　アレルギー対応の備蓄についてどのようになっているか。
→課長答弁　ビスケット及びサバイバルフーズはアレルギー非対応食品だが、アルファ化米、高齢者用食のおかゆは全てアレルギー対応食品。備蓄食料全体の約40%がアレルギー対応食品。ビスケットは指定避難所に分散備蓄している。
→西質問　指定避難所でアレルギー対応の食品は備蓄されていないのではないか。
→課長答弁　委員指摘の通り。
→西要望　避難所が孤立することもあることから、避難所でも一部備蓄すべきでないか。
→課長答弁　**あらかじめ避難所に配備できるように検討を進める。**



合葬墓建設について

西質問　（近年の核家族化や人口減少、高齢化により、墓地への市民ニーズが多様化する中で、お墓の承継にお悩みを持つ方の需要にも対応する形態の墓地である）合葬墓の建設について各政令市や府内自治体でも取組が進んでいるにもかかわらず、堺市は平成25年の議会で「調査研究する」と答弁したままになっている。ニーズが高まっていく中で早急に整備をしていく必要があるのではないか。
→課長答弁　**時代に合った合葬式墓地の導入に向け、検討を行っていく。**

中心市街地活性化とMaasについて

西質問　フィンランドで始まったさまざまな交通手段の検索や決済が1つのスマートフォンアプリで行えるサービスであるMaas（"Mobility as a service"）について、全国各地で導入の検討が進んでいる。堺においても、自動運転やIOTを活用したシェアサイクルの導入の検討が進む中で、プラットフォームの共通化や導入への検討が必要ではないか。
→課長答弁　交通事業者がMaaSに対してどのような意向を持っているのかを確認しながら、市にとってよりよい選択ができるよう対応していく。

その他「震災対策整備事業」「堺区区域まちづくり事業（海保との連携）」「自転車通行環境整備」「災害時の水道耐震化」について取り上げました。詳細は議事録を読んでいただけると幸いです。

総務財政委員会（9月）

9月27日に開催された総務財政委員会において質疑しました。

●発言録や動画は、https://nishitetsu.net/category/assemblyrecord にてご覧いただけます。

●発言抜粋・要約

東京事務所について

西質問　市長就任直後で東京事務所を廃止統合するというニュースが流れた。これは事実か。
→東京事務所次長答弁　年内に堺市東京事務所を都道府県会館内にある大阪府・大阪市東京事務所内に移転する。
→西質問　堺市の東京事務所の従来のプロモーション活動はしっかりと行うべきと考えるが。
→次長答弁　従来の活動はしっかりとやっていく。
→西要望　情報収集活動としては少しメリットがあるが、スペースが小さくなる上に、（人口誘導、企業誘致、観光誘致等の）プロモーション上の競合相手（大阪市）と同居でいいのか不安。積極的な「堺」発信に向けて更に取り組んでほしい。

全国大会を活用したシティプロモーションについて

西質問　全国の中学校美術部から入賞をめざして約4,000点もの作品が応募される全国大会「アートクラブグランプリIN SAKAI」だが、報道採録も取れていない。このような全国大会の機会をつかって、プロモーションの観点から強化すべきと考えるが。
→課長答弁　教育委員会としては、シティプロモーションの価値を踏まえ、予算を要求していく。
→課長答弁　情報媒体の活用や情報発信の方法等について相談、助言を行うなど、シティプロモーション担当がこれまで培ってきたネットワークやノウハウを活用して支援していく。

事務事業の見直しについて

西質問　新市長が示した事務事業チェックの視点は目新しいものは何もないのではないか。
→局長答弁　過去には出てきた項目である。
→市長答弁　今まで行革で進められてきた事業と項目は似通っていたとしても、違った視点で見直しができると思う。
→西要望　このままでは各局が具体的にわからない。しっかりと示すことが重要と考える。

財政見込について

西質問　平成30年決算では、平成28年発表の中長期財政収支見込よりも収支が悪化をしている。維新の会議員は、前市長によりハコモノが増加したためであると批判しているが本当か。
→課長答弁　平成28年の公表時に見込んでいなかった財政的負担が大きい事業として、小・中学校のトイレ改修事業、会計年度任用職員制度の開始、子ども医療費助成対象者の18歳までの拡充分などがあり、今後収支不足の大きな要因になる。
→西質問　中長期財政収支見込を修正する必要がある。いつやるのか。
→課長答弁　堺財務戦略とあわせて公表したいと考えており、来年2月ごろを予定している。
→西要望　わかりやすい「見える化」を求める。

その他「公職選挙法違反」「市職員の自転車通勤促進」「AI・RPAの活用」について取り上げました。詳細は議事録を読んでいただけると幸いです。

環境審議会（10月）

10月31日、環境審議会委員として、来夏の条例上程について、市長から諮問された「土砂埋立などの規制に関する条例（仮称）」（案）について議論しました。府条例より小規模なものに関して取り締まる条例ということですが、川下になる西区選出議員として、違法な埋立について取り締まる科料や罰則が小さすぎることや水質検査が求められていないこと等を指摘するとともに、他市での先進事例を示し改善を求めました。

最近の出来事

浜寺小学校建て替えについて

運動場が堺で一番狭い浜寺小学校建替えについて、地域の方々や浜寺小出身の友人達や父兄からご意見をいただき、本年3月の委員会で、運動場を広くする為の用途地域変更や、体育館の現地建替、特別教室の体育館上からの移転、図書室や支援教室の標準並のスペース確保等について議論しました。現在、設計に入ろうとしていますが、体育館上からの特別教室移転や図書室等のスペース確保については目途が立ちましたが、このままでは市内で3番目に小さい運動場になってしまいます。限られた敷地ではあるもの、子ども達の為に最善の策を探し引き続き議論します。

（浜寺小ホームページより引用）

津久野駅前のまちづくり

津久野駅の東西往来が不便な事、西口側からのアクセスが不便な事、西口ロータリーが暗い事、東口のビルが耐震検査を終えていない事、快速停車がなく不便な事など何度も本会議や委員会で取り上げてきました。それを受けて、本年度、堺市は予算を計上し、土地利用や公共施設整備状況などの調査と、まちづくり構想案の作成支援などを行うコンサルタントを公募で決定し、本格的に動き出しました。現在、コンサルタントが地域へアンケート調査をおこなっていますが、この内容を基に、市街地再開発事業などのまちづくりの検討が進んでいきます。

空き家対策について

西区内各地を歩いていると、空き家の多いことに驚かされます。空き家の増加は、街の活力を奪い、治安の悪化を招きます。そこで、地域の安全の向上や活性化の為に空き家対策の重要性を議会でいち早く提言し、まずはワンストップでの空き家相談が行われるようになりましたが、本年10月から12月の間で、堺市全域の空き家実態調査を行うことになりました（西区は、11月19日～12月9日）。一年以上水道がほぼ使用されていない一戸建て及び長屋建て住宅について外観から管理状況を調査し実態を調べます。課題を抽出し、さらに空き家対策を急ぎます。

災害時の電力供給について

昨年の台風災害でも堺市内各所が停電しました。そのような中、多くの学校でソーラーパネル（設備能力10KW～15KW）が設置されています。西区においても学校数20校の内、7校に設置され、本年度3校に太陽光発電装置が設置されます。停電時には、この装置を住民が使えるようにすることによって、せめてスマートフォンなどの充電（一台10W程度）に活用できないかと昨年3月の本会議質問で提案し議論してきました。その結果本年3月から平岡小の太陽光発電装置が災害による停電時には住民の方々に使って頂けるようになり、これから随時各学校でマニュアルや設備を整備することになりました。

LINE@ 堺市LINEアカウント

平成28年9月の本会議での議論において、市政情報の発信や住民サービスのためには、SNSの利用状況を考えるとLINEの活用が必要であると提言し、全国の様々な事例を示しながらこの間議論をしてきましたが、本年11月から堺市の公式LINEアカウントがはじまることになりました。LINEを活用し、市政情報や災害情報を届けることになります。ぜひ、QRコードで友達追加していただけたらと思います。

https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/koho/koho/sns/koho_line.html

待機児童対策と公有地活用

2021年4月から、平岡小敷地を活用して小規模保育事業所が開設することが決まり、10月30日の読売新聞に「平岡小敷地に保育所」との記事が掲載されました。この計画は、今なお増加の一途をたどる待機児童の増加に対応し、公有施設を活用して保育事業所を設置するものですが、学校敷地を活用するという全国的にも珍しい事例です。この計画の実現に向けて、市担当課と連携しながら、連合自治会長やPTA会長はじめ地域の皆さんと一緒に取り組んできただけに感慨深いです。この事例の他地域への展開も含め、待機児童の解消に引き続き取り組みます。

整備案件

SAKAI

地域の皆さんからいただいた安全なまちづくりについての要望の実現に努めました。
下記以外にも実現途中のものがありますので引き続き実現に努めます。

◎上野芝町自転車道舗装やり直し
◎上野芝向ヶ丘町雨水枡機能回復
◎家原寺小学校下歩道舗装整備
◎家原寺小学校下雑木伐採
◎旧津久野下水処理場横照明設置
◎諏訪ノ森神野線神野町ガード下交差点側道歩道確保
◎津久野駅前点字ブロック張替
◎平岡町伊勢路川沿街路樹伐採
◎平岡町カーブミラー位置修正

（五十音順）